

委員会記録

○ 第一回 合同委員会

一、期日 一〇月一二日正午より

一、場所 研究大会場（鴨川市、望洋荘）

一、出席者 新旧各委員（欠席、園田委員）

一、議題

(1) 第二一回研究大会の共通課題についてすでに各会員から提出されているアンケートなどをも参考にして、次回運営委員会において決定することにした。

(2) 「宿題委員」の役割等について 宿題委員の分担すべき役割

について、とくに運営委員会との関連において討議された。その結果、宿題委員は共通課題について研究会を主宰し、課題についての問題点を整理し、大会時まではその成果を会員に伝える。研究会場の設営その他事務的な処理は事務局が主としてこれに当ることとした。

(イ) 新事務局、次期大会主催委員からの連絡 事務局服部、川本委員から、事務局の連絡場所を明治学院大学に置くことについて報告があり、了承された。次期大会主催（愛知大学）牧野委員より開催地については、後日、決定しだい報告するということであった。

○ 第二回 合同委員会

一、期日 二月八日（金）五時より

一、場所 明治学院大学社会学部附属研究所

一、出席者 小池基之、（御家族の御病気をおして御出席のために

中途退席を願った）、中野卓、島崎稔、柿崎京一、

蓮見音彦、高橋明善、似田員香門、事務局（服部、

川本、益田明美）

一、議題と報告

(イ) まず事務局より報告事項をのべ、ついで議題に入った。

(1) 財政事情 本年度研究、事業計画に応ずる財政は相当の緊縮が予想されること、そのためには会費の徴収に全力をあげ、また各会員の協力をもとめることが重要である。

(2) 名簿発行の件 前事務局においてすでに新名簿を発行した

が、その後会員の住所変更なども多く不便な点が多かったことにより、今回も新名簿訂正版発行の議がだされたが、現下の財政事情もあり、いささかの不便はしのぐこととして見送りということになった。

(ロ) 宿題委員会関係 本年度の共通課題についてまず事務局より手許にあるアンケート回答、ならびに会員諸氏よりの便りを披露し、それらの資料をもとにして熱心な討論が行われた。

資料の二、三については後記参照。結局、昨年度共通課題の継続について積極的な反対意見はアンケート回答等においても見あたらなかったが、継続するかいなかの問題をふくめ、宿題委員会に申し送り、本日の討論をふまえて再度審議のうえ、次回合同委員会に原案提出を願うことになった。

(ハ) 編集委員会関係 まず小池会員より編集方針をより敬重にすることの意見が提出、その後、柿崎委員より(1)大会報告者に対する執筆依頼、および応募者の取り扱いについて、(2)研究動向の執筆依頼についての件について意見が求められたが、(1)については大会報告者といえど執筆依頼を求めぬこともありうるが、個々についてはもう少し検討してからにし、(2)については執筆依頼に応じて下さる方について意見を出しあつた。